

躍進の音

~If you can dream it, you can do it.~



木津川市立木津第二中学校
学校だより 4月号
令和7年4月14日

【めざす生徒像】

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高め合う生徒

『礼節』 正義と節度を守る生徒

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒

【学校教育目標】

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り開く力を育み、社会の作り手となる生徒を育成する。



桜の花びらが地面を淡いピンクで彩り、若葉の緑が青空に映える季節になりました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。今年度新入生131名を迎え、全校生徒354名で令和7年度の教育活動をスタートしました。

入学式での呼名の際に返事をしている新入生の凛とした姿勢、新入生代表の力強い言葉から、いよいよ始まる中学校生活への大きな期待と、がんばろうという意気込みがいっぱい伝わってきました。また、在校生代表の新入生歓迎の言葉からは、新たな仲間を迎え、みんなで素晴らしい学校生活を築いていこうという温かい思いが伝わりました。

本校がめざす生徒像について【友愛】【礼節】【協力】

「友愛」とは、人間全体を一つの家族として包み込む人間相互の愛を意味しています。そして、その愛をもって、社会に貢献できる人になってほしいという願いが込められています。

次に「礼節」とは、礼儀正しくするというだけでなく、“節度”と“心”も伴った行動ができる人になってほしいという意味です。そのために必要なのは、日頃のコミュニケーションです。人を知り、己を知ること、初めて心のこもった礼節が生まれてきます。

最後に「協力」です。本校の校歌の歌詞にもあるように、木津第二中学校の生徒・教職員・保護者・地域の方々すべてが「手を取り、進み」「未来へと向かいましょう」という意味です。そこには、様々な人々と協力できる国際人として活躍してほしいという願いが込められています。

この3つの校訓に共通する願いは、「人と自分を大切にできる人になってほしい」ということです。

開校から40年間、先輩方が築き上げてきた素晴らしい伝統と校風を継承し、「友愛・礼節・協力」に満ち溢れた素晴らしい木津第二中学校をつくっていきましょう。



子ども達にとって楽しい学校にするため、今年度も教職員一同日常の授業を大切に、一人一人の可能性を伸ばす教育をしたいと思っています。笑顔と元気で、思いやりの心を持って子ども達一人一人をしっかりと見守り、大切に育んでいきます。

保護者ならびに地域の皆様、木津第二中学校の子ども達の成長と安全のため、これからもご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 齋藤 昌宏